

平成 30 年度林野庁補助事業途上国持続可能な森林経営推進事業 第 4 回セミナー

森林ビジネスの可能性

持続可能な森林管理とビジネスの両立を目指して

2019年

2月28日(木) 14:00 ~ 17:00

TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター ホール 5C



参加費無料

参加申込 / 詳細

<https://jifpro.or.jp/infomation/2427/>

林産物を活用した 森林ビジネスモデルをご紹介します

- 途上国からの安定した原料調達のために、サプライチェーンを見直したい！
- 森林に依存する地域住民の生計向上や森林保全に貢献したい！
- SDGs に繋がるヒントが欲しい！
- ・・・等のお考えをお持ちの方のご参加をお待ちしています



森林ビジネスの可能性

持続可能な森林管理とビジネスの両立を目指して

森林ビジネスへの取り組み

森林は、気候変動対策に加えて、木材、食糧、燃料、薬などの生産など様々な機能をもっています。しかし、世界の森林は、毎年 520 万ヘクタール、日本の面積の約 14% に等しい規模で減少していると言われています。森林保全や森林の持続的な利用は、今日の大きな課題です。

国際緑化推進センターは、森林保全や森林の持続的な利用と両立する、林産物を用いた森林ビジネスに着目しました。森林ビジネスによって、森林保全、森林の経済価値の向上や地域住民の生計向上などの多様な効果が期待されます。そのような森林ビジネスについて、森林減少が懸念される途上国を対象に、ビジネス化の可能性のある林産物の発掘、市場のニーズ把握、加工法の改善等を調査し、ビジネスモデルを提案しています。(途上国森林ビジネスデータベース BFPRO : <http://jifpro.or.jp/bfpro/>)

産品紹介

- トゥーナ材 (木材)
美しい赤みを帯びた材で、タンザニアでは家具材として好まれる。成長がはやく栽培しやすい。
- カポック繊維 (工業原料)
かつて充填剤として広く用いられており、近年では機能性の高い繊維として新たな用途が広がりつつある。
- タマヌオイル (化粧品)
脂肪酸をバランスよく含む、抗酸化力の高い美容オイル。泥炭地保全や防潮林など、環境保全にも役立つ。
- 金花茶 (食品)
黄花種のツバキ。健康効果が期待され、健康食品として中国やベトナム国内での需要が高い。林内や林縁部の天然資源を採集する。
- トウシキミ由来のシキミ酸 (医薬品)
抗インフルエンザ薬の原料となり、予防投薬として ASEAN や中東アフリカ地域での需要が高い。焼畑跡地など急峻な地形でも栽培可能。

プログラム

このセミナーでは、森林ビジネスに携わる / 試みる企業や NGO が、森林ビジネス製品の魅力やマーケット訴求力、ビジネス化にあたっての課題と解決策などを含む、ビジネスモデルを紹介します。また、海外での地域住民への配慮や環境保全など、SDGs や CSR にも関連する情報を共有します。

開会

趣旨説明

森林ビジネスモデルの紹介 (順番は変更する可能性があります)

トゥーナ材：地域住民による小規模生産とローカルマーケットの拡大への挑戦 (タンザニア)
カポック繊維：高い機能性と国際市場拡大の可能性 (インドネシア)
タマヌオイル：泥炭地保全へとつなぐ生産体制の整備 (インドネシア)
金花茶：行政連携型の持続的な森林管理・生産 (ベトナム)

パネルディスカッション：森林ビジネスの可能性ー森林保全とビジネスの両立ー

トゥーナ材 (タンザニア産) 金花茶 (ベトナム産)
カポック繊維 (インドネシア産) トウシキミ由来のシキミ酸 (ミャンマー産)
タマヌオイル (インドネシア産)

閉会